

平成16年度大気環境保全活動功労者表彰受賞者及び功績

(個人 :14件 団体 :7件)

個人

氏名	年齢(歳)	職業	功績概要
いわさき よしはる 岩崎 好陽	59	東京都環境科学研究所参事研究員	「三点比較式臭袋法」の開発の中心メンバーとして貢献。また、講演や執筆などによりその普及に努めるとともに、環境省の検討会においても座長を数多く努めるなど、精力的に活動。
おかむら みちお 岡村 迪夫	67	(株)パワーシステム代表取締役会長	電力利用率の向上とCO2の削減に効果的な、大容量の電気を蓄えられる次世代蓄電システム(ES)を考案し、既にハイブリッドカーでも採用されるなど、大気環境の保全にも効果的な研究開発に従事し、顕著な功績。
かどわき さとし 角脇 怜	57	愛知県環境調査センター応用化学部長	平成12年度よりダイオキシン類環境測定調査受注資格審査検討会検討員(平成14年度からは主査)として、ダイオキシン類測定の精度管理の向上に多大なる貢献。
かまた さつお 鎌田 薩男	69	鹿児島大学名誉教授	鹿児島県環境審議会総合部会長として、畜産県として多く存在する悪臭発生事業場に対する規制行政や、騒音・振動の規制地域指定のほか、大気全般にわたり鹿児島県の大気環境行政の推進に貢献。
くぼやま まさゆき 久保山 正幸	61	北松北部環境組合囑託職員	松浦市と市内企業との間の環境保全協定の締結に尽力。また松浦市技術吏員として24年間にわたり、大気環境全般、騒音、振動、悪臭等の問題に関する講演を通して大気環境保全思想の高揚に資する普及・啓発活動に従事、貢献。
こさことし そう 小佐古 敏荘	55	東京大学原子力研究総合センター助教授	環境放射線等モニタリングデータ評価検討会会長として、環境省の放射線モニタリングシステムの整備、システムの稼働手法及びデータの評価方法を検討するなど、環境省の環境放射線モニタリング事業の立ち上げに多大な貢献。
さいとう たけお 齋藤 武雄	62	東北大学大学院教授	太陽電池の二倍の効率で電力が得られる画期的な発電システムを開発するなど、大気環境の保全に関する研究開発に顕著な功績。
さばし のりお 佐橋 紀男	64	東邦大学教授	東京都花粉症対策委員会の委員、日本花粉学会の副会長、日本アレルギー学会の評議員を務めるほか、NPO法人の花粉情報協会理事長として全国ネットワークを築く。花粉観測予測システム検討会の委員としての的確な助言を行うなど、花粉観測体制の構築に多大な貢献。
すずき しやうじ 鈴木 昭次	77	元法政大学工学部教授	(社)日本騒音制御工学会の副会長(S61~S63)、会長(S63~H2)を歴任するなど、騒音制御分野を代表する一人であり、騒音防止行政に多大な貢献。 また中央環境審議会騒音振動部会騒音未規制施設専門委員会委員長として、騒音規制法の規制対象施設の在り方について(中間報告)を取りまとめ留など、騒音規制行政に多大な貢献。
たくち けいすけ 田口 圭介	62	(財)大阪府下水道技術センター	大阪府内の酸性雨調査ネットワークを構築。また東アジア酸性雨モニタリングネットワーク活動への参画、さらに、樹木による大気浄化に関する調査研究の推進など多方面にわたる大気保全行政に多大な貢献。
なかの たけし 中野 武	54	兵庫県立健康環境化学研究センター安全科学部主任研究員	平成12年度よりダイオキシン類環境測定調査受注資格審査検討会検討員(平成14年度からは主査)として、ダイオキシン類測定の精度管理の向上に多大なる貢献。
はせがわ きよし 長谷川 淳	63	国立大学法人富山大学教授	多年にわたり、富山県環境審議会及び富山県環境審議会大気騒音振動専門部会等大気関係の中心委員として大気環境保全に多大な貢献。地域特性に応じた大気保全施策の確率に多大な貢献。

ふくしま てつじ 福島 徹二	61	日本環境 (株) 技術顧問	長年横浜市において大気保全行政に従事し、大気汚染発生常時監視体制の整備、自動車公害防止計画の策定、環境影響評価条例制定に尽力。また国の大気関係検討会の委員を歴任するなど大気環境行政に多大な貢献。
もりた まさとし 森田 昌敏	60	独立行政法人国立環境研究所統括研究官	ダイオキシン類環境測定調査受注資格審査検討会、ダイオキシン類簡易測定法検討会等各種検討会の座長として、ダイオキシン類対策をはじめとする化学物質対策の推進に多大なる貢献。また、日本環境化学会会長、日本化学会環境委員会委員、日本内分泌攪乱化学物質学会事務局長等として、我が国における環境化学分野の研究をリードし、その発展に寄与。

団体

団体名	代表者	功績概要
かしま りんかい ちいき 鹿島臨海地域に おけるベンゼン じしゅ かんり きょうぎかい 自主管理協議会	すみとも きんぞくこうぎょう かぶ 住友金属工業 (株)	国が定めた 事業者による有害大気汚染物質の自主管理促進のための指針」に基づき、ベンゼン濃度の環境基準の目標達成に向けて排出量の削減に取り組み、鹿島地域におけるベンゼン濃度の環境基準達成に貢献
環境を考える 会 "ゆりのき"	まゆみ かずや 真弓 和也	兵庫県中播磨県民局と連携し子供向けの環境家計簿を作成。
サンクスネイ チャーバスを走 らす会	くりやま まさのり 栗山 雅則	天ぷら油などのリサイクル燃料で走る無料巡回バスの運行を積極的に推進。
(株)富士通ファシ リティーズ・エン 지니어リング会 わかまつ しげよう じょ 津若松事業所	しげよう しげよう よしざき つとむ 事業所長 吉崎 勉	H2年より有機溶剤(キシレン)の回収装置を設置し、PRTR法対象物質の大気への排出削減に努めている他、コージェネレーション・システムによりCO2排出削減を進めている等、事業所及び周辺の環境負荷を低減するため、継続的に環境保全活動を実施し、大気環境保全に貢献。
ミヤマ(株)	みなみ えいし 南 栄嗣	全社的にアイドリングストップ運動を推進。また温暖化防止、省エネ運転、安全運転まで包含するエコドライブ運動を展開。物流トラックドライバーを対象にエコドライブ講習会を実施。ドライビングテクニク及び意識向上による燃費消費量削減を図った。また車両のエンジン特性や走行している道路や路面の状況をリアルタイムで解析しながら、最適なエコドライブを行うための運転操作をナビゲートする装置を開発、販売。
やまがたさんせいりゅう 酸性雨 ネットワーク	かいちよう うえき かつし 会長 上木 勝司	酸性雨の研究者リストの作成や研究成果の発表会等を毎年開催し、研究成果の共有化や研究者のレベルアップの活動を実施。また県民参加の酸性雨一斉調査や二酸化窒素調査事業を展開し、県民参加の環境公益活動に大きく貢献。
ゆうりんかい 熊輪会	きゅうしゅう かぶ だいいしよんまりやくしや 九州ティ・エス (株) 代表取締役社 ちよう まつなが たかみ 長 松永 隆身	大気汚染防止をテーマとした基調講演や環境負荷低減等を目的とした環境交流会を開催。グループ各社間の大気保全活動の推進を図った。またダイオキシン発生施設の廃止を推進。